

成覚寺真宗関係史料 一括(2点)

成覚寺真宗関係史料

じょうかくじ しんしゅうかんけいしりょう

分野／部門

有形文化財／歴史資料

所有者

宗教法人 成覚寺(じょうかくじ)

所在地

大阪市西淀川区野里 2

紹介



本願寺教団は 8 世門主蓮如の時代に摂津・河内地域に教化を広げ、後の大坂本願寺となる大坂御坊を開いた。その後を継いだ 9 世実如の時代である 15 世紀末からは、在地に勢力が浸透し、拠点となる惣道場が次々に開かれた。本願寺教団は惣道場に本尊となる画像や名号を下付した。

成覚寺は天文元年(1532)創建と伝える。

左の方便法身阿弥陀如来画像(ほうべんほっしんあみだによらいがぞう)は、永正 7 年(1510)の実如筆の裏書を同伴する 16 世紀初めの画像本尊。宛所と願主部分は滅失している。修復の際に附されたと考えられる別の裏書には、野里の北東にあたる佃村に下付された本尊と記される。

在地の歴史資料で中世にさかのぼるものは市内では希少であり、貴重な史料である。